

# ★学ぼう！野菜のこと 農業のこと



給食協会では食育の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため、収穫体験を行っています。

今回は6月15日（金）小倉北区到津小学校5年生43名が、若松区有毛の永住さんの畑で”じゃがいも”の収穫体験を行いました。



今回は、学校に戻っての給食交流会はありませんでしたが、青空の下で、永住さんから農業の大変さや喜びについてお話しをいただきました。当日掘ったじゃがいもの品種は“ニシユタカ”で5、6月給食に出荷しており、調理士さんが調理しやすいように大きく育つのが特徴だそうです。他にも永住さんは給食にたまねぎ、だいこん、キャベツ、かぼちゃなども出荷しています。

今回の収穫体験や永住さんのお話で、これからはもっと食べ物を大切にしたい、野菜を残さず食べようと思うなどの感想があり、心に残る良い体験となったようです。

予定としていた日が、雨のため中止となり、予備の日に収穫体験を行いました。この日は、みんなの願いがかなって梅雨の中休みで快晴です。

生産者の永住さんから、収穫方法を聞き、茎の真下を手で一生懸命掘っていきます。深く掘れば掘るほどどんどんじゃがいもが出てきて、今まで見たことのないビッグサイズのじゃがいもにびっくり！！いろんなところで歓声があがっていました。

袋いっぱい詰め込んだあとは、機械堀りを見せていただきました。

